



## 平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月6日

上場会社名 浜松ホトニクス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6965 URL <http://www.hamamatsu.com/ja/ir/index.html>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 晝馬 明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 嶋津 忠彦 TEL 053-452-2141  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年9月期第1四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	29,981	0.5	4,300	△14.4	4,775	△6.0	3,621	△3.1
28年9月期第1四半期	29,822	4.3	5,023	△12.5	5,082	△18.3	3,736	△18.3

(注) 包括利益 29年9月期第1四半期 6,900百万円 (103.8%) 28年9月期第1四半期 3,385百万円 (△52.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	23.02	—
28年9月期第1四半期	23.24	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第1四半期	223,673	173,937	77.5
28年9月期	217,300	169,716	77.8

(参考) 自己資本 29年9月期第1四半期 173,370百万円 28年9月期 169,163百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	17.00	—	17.00	34.00
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期 (予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年9月期の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	60,500	△3.7	9,100	△18.0	9,400	△16.0	7,000	△11.2	44.50
通期	122,500	0.5	19,000	△7.5	19,600	△2.2	14,400	△0.1	91.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期1Q	167,529,968株	28年9月期	167,529,968株
② 期末自己株式数	29年9月期1Q	10,213,758株	28年9月期	10,213,758株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期1Q	157,316,210株	28年9月期1Q	160,786,317株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経営環境は、個人消費は底堅く推移し、輸出も持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、新興国経済の減速リスクや英国のEU離脱問題、米国の政権交代等もあり、景気の先行きは不透明な状況となっております。

このような状況におきまして、当社グループは、将来に向けた積極的な設備投資を継続するとともに、光に関する研究開発を推進し、顧客ニーズに対応した新製品の開発に努めることで、売上高、利益の確保に努力してまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は29,981百万円と前年同期に比べ158百万円(0.5%)の増加となりました。一方、利益面につきましては、営業利益は4,300百万円と前年同期に比べ723百万円(14.4%)の減少、経常利益は4,775百万円と前年同期に比べ307百万円(6.0%)の減少、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,621百万円と前年同期に比べ114百万円(3.1%)の減少となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## [電子管事業]

光電子増倍管は、PETなどの核医学検査装置向けやウェハ検査装置などの半導体装置向けの売上げが堅調に推移し、また、学術用途向けの売上げも高エネルギー物理学実験用の受注により増加したものの、前年同期に比べ為替が円高に振れたことにより売上高が押し下げられる影響を受けております。

イメージ機器及び光源は、産業分野におきましては、アジアを中心として非破壊検査装置向けのマイクロフォーカスX線源の売上げが堅調に推移したものの、シリコンウェハを切断するステルスダイシングエンジンの売上げが減少いたしました。また、医用分野におきましては、X線画像を可視像に変換するX線シンチレータの売上げが伸び悩みました。

この結果、電子管事業といたしましては、売上高は11,151百万円(前年同期比4.1%減)、営業利益は3,638百万円(前年同期比9.6%減)となりました。

## [光半導体事業]

光半導体素子は、円高により売上高が押し下げられる影響を受けたものの、医用分野におきまして、歯科用のフラットパネルセンサが海外を中心に売上げが大きく増加したことに加え、主力のシリコンフォトダイオードが、医用装置向けを中心として引続き順調に推移いたしました。また、産業分野におきましては、半導体製造・検査装置向けのイメージセンサ及び産業用ロボット等の制御に用いられるエンコーダ向けシリコンフォトダイオードやLEDの売上げが堅調に推移いたしました。

この結果、光半導体事業といたしましては、売上高は14,047百万円(前年同期比4.5%増)、営業利益は4,071百万円(前年同期比0.6%減)となりました。

## [画像計測機器事業]

画像処理・計測装置は、半導体故障解析装置がアジアを中心に引続き堅調に売上げを伸ばしたことに加え、食品市場等のX線非破壊検査向けのカメラの売上げも堅調に推移いたしましたものの、生命科学やバイオ分野で用いられるデジタルカメラが、顧客の新製品リリース遅れによる在庫調整の影響を受け売上げが減少いたしました。

この結果、画像計測機器事業といたしましては、売上高は3,806百万円(前年同期比0.3%減)、営業利益は674百万円(前年同期比10.8%減)となりました。

## [その他事業]

半導体レーザーに係る事業、子会社の㈱磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。

当セグメント(その他)の売上高は975百万円(前年同期比4.5%増)、営業利益は68百万円(前年同期比19.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産の主な変動は、現金及び預金が2,455百万円、たな卸資産が1,618百万円それぞれ増加したことなどから、流動資産は前連結会計年度末に比べ3,455百万円増加しております。

固定資産の主な変動は、建設仮勘定、建物及び構築物の増加などにより、有形固定資産が2,595百万円増加したことなどから、固定資産は前連結会計年度末に比べ2,917百万円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6,372百万円増加し、223,673百万円となりました。

流動負債の主な変動は、設備関係未払金（流動負債その他）が1,236百万円、預り金（流動負債その他）が1,173百万円それぞれ増加したことなどから、流動負債は前連結会計年度末に比べ2,084百万円増加しております。

固定負債の主な変動は、退職給付に係る負債が96百万円増加したことなどから、固定負債は前連結会計年度末に比べ67百万円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ2,151百万円増加し、49,735百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が3,026百万円増加したほか、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより利益剰余金が942百万円増加したことから、当第1四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比べ4,221百万円増加し、173,937百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期の第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想につきましては、平成28年11月7日付けで公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想の前提となる為替レートにつきましては、1米ドル＝100円、1ユーロ＝110円を想定しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	74,503	76,958
受取手形及び売掛金	27,916	29,164
有価証券	1,000	—
商品及び製品	7,554	8,866
仕掛品	16,248	16,527
原材料及び貯蔵品	6,241	6,268
その他	7,232	6,360
貸倒引当金	△188	△183
流動資産合計	140,508	143,964
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,231	29,905
機械装置及び運搬具(純額)	10,070	10,586
工具、器具及び備品(純額)	3,762	3,953
土地	16,406	16,463
リース資産(純額)	195	188
建設仮勘定	4,625	5,791
有形固定資産合計	64,292	66,888
無形固定資産		
投資その他の資産	1,463	1,534
投資有価証券	2,446	2,744
繰延税金資産	6,638	6,568
その他	1,970	1,992
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	11,036	11,286
固定資産合計	76,792	79,709
資産合計	217,300	223,673

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,580	4,668
電子記録債務	8,880	9,451
短期借入金	2,183	2,176
1年内返済予定の長期借入金	218	215
未払法人税等	2,019	1,201
賞与引当金	3,613	1,767
その他	10,380	14,480
流動負債合計	31,876	33,961
固定負債		
長期借入金	6,844	6,801
退職給付に係る負債	7,118	7,215
その他	1,743	1,757
固定負債合計	15,707	15,774
負債合計	47,583	49,735
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	34,928	34,928
資本剰余金	34,672	34,672
利益剰余金	119,259	120,201
自己株式	△16,059	△16,059
株主資本合計	172,800	173,743
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	455	657
為替換算調整勘定	△2,921	104
退職給付に係る調整累計額	△1,170	△1,134
その他の包括利益累計額合計	△3,637	△372
非支配株主持分	553	567
純資産合計	169,716	173,937
負債純資産合計	217,300	223,673

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)
売上高	29,822	29,981
売上原価	14,388	15,288
売上総利益	15,433	14,692
販売費及び一般管理費	10,410	10,392
営業利益	5,023	4,300
営業外収益		
受取利息	68	36
投資不動産賃貸料	36	27
為替差益	—	370
持分法による投資利益	25	31
その他	90	66
営業外収益合計	220	533
営業外費用		
支払利息	24	28
不動産賃貸費用	18	15
為替差損	110	—
その他	8	13
営業外費用合計	161	57
経常利益	5,082	4,775
特別利益		
固定資産売却益	26	8
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	26	8
特別損失		
固定資産売却損	0	5
固定資産除却損	4	7
特別損失合計	4	13
税金等調整前四半期純利益	5,104	4,770
法人税等	1,354	1,126
四半期純利益	3,750	3,643
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,736	3,621



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	3,750	3,643
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	80	201
為替換算調整勘定	△531	3,022
退職給付に係る調整額	90	36
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	△3
その他の包括利益合計	△364	3,256
四半期包括利益	3,385	6,900
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,388	6,885
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子管	光半導体	画像計測機 器	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	11,624	13,446	3,817	28,888	933	29,822	—	29,822
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	304	226	1	532	244	776	△776	—
計	11,929	13,673	3,818	29,421	1,177	30,598	△776	29,822
セグメント利益	4,026	4,095	756	8,878	85	8,963	△3,939	5,023

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザーに係る事業、子会社の(株)磐田ランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△3,939百万円には、セグメント間取引消去△312百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,627百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子管	光半導体	画像計測機 器	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	11,151	14,047	3,806	29,005	975	29,981	—	29,981
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	428	187	2	618	129	748	△748	—
計	11,580	14,235	3,808	29,624	1,105	30,729	△748	29,981
セグメント利益	3,638	4,071	674	8,385	68	8,453	△4,153	4,300

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザーに係る事業、子会社の(株)磐田ランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△4,153百万円には、セグメント間取引消去△361百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,792百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。